



# アーチェリー

ぜんこくしょうがいしゃ  
全国障害者  
たいかい  
スポーツ大会  
パラリンピック

しんたいしょう しゃ まと さ や てんすう きそ ゆみ ちが  
身体障がい者がプレーし、的に刺さった矢の点数を競います。弓の違いによって「リカーブ部門」と「コンパウンド部門」があります。



## ルール

ぜんこくしょうがいしゃ たいかい  
全国障害者スポーツ大会では、「リカーブ部門」と「コンパウンド部門」

それぞれで50m・30mラウンドと30mダブルラウンドがあり、選手全員が一斉にプレーします。選手は2分以内に3本の矢を射ます。このサイクルを1エンドといい、1エンドごとに採点を行います。12エンドで1ラウンドとし、2つのラウンドで合計72射を行って、合計得点を競います。



## ちょっと休憩



しょう しゃ  
障がい者スポーツにアーチェリーが取り入れられたのは1940年代からだよ。  
アーチェリーは、1960年の第1回ローマパラリンピック大会から正式競技として行われているよ。

## ポイント

きょうぎ しゆもく ぜんこくしょうがいしゃ たいかい  
競技種目 (全国障害者スポーツ大会)

### 50m・30mラウンド

や い ぼしよ  
矢を射る場所(シューティングライン)からの的までの距離が50m、30mと2パターンあり、それぞれの各距離を1ラウンドずつの合計で競います。

50m  
または  
30m



### 30mダブルラウンド

シューティングラインからの的までの距離が30mあり、2ラウンドの合計で競います。

## 知っておこら

しゅう ゆみ  
使用する弓は、リカーブボウとコンパウンドボウの2種類があります。

### リカーブ部門

ゆみ せんたん きやくそ けいじょう ゆみ しゅう  
弓の先端が逆反りした形状の弓を使用します。オリンピックでも使用されている弓で、引くの力に力を要します。



リカーブボウ

### コンパウンド部門

ゆみ せんたん かつ  
弓の先端についた滑車でリカーブよりも小さい力で引くことができます。手や腕などに障がいがある選手も口などで弓を引いてプレーできます。

あし くち つか  
足や口を使ってプレーもできます



コンパウンドボウ

